

# 道路事業

## 主要地方道 <sup>やいた なす</sup> 矢板那須線 <sup>やいた</sup> 矢板バイパス

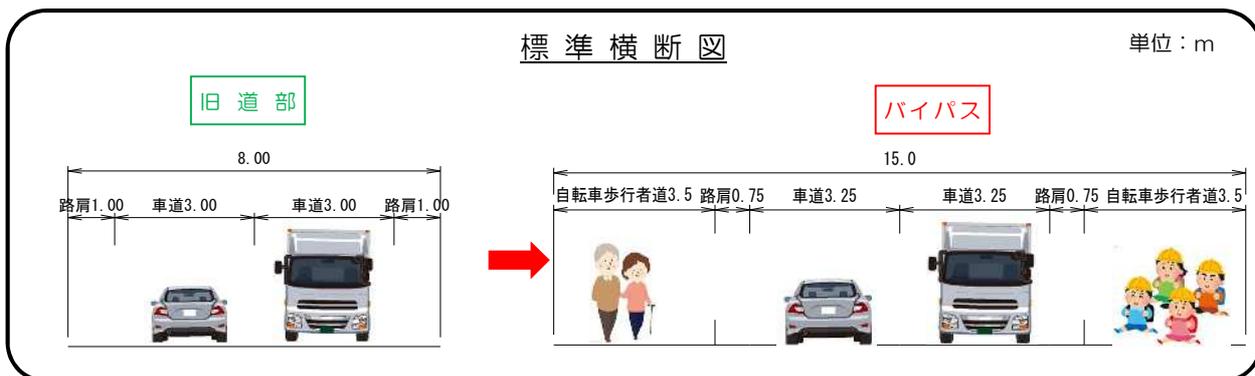
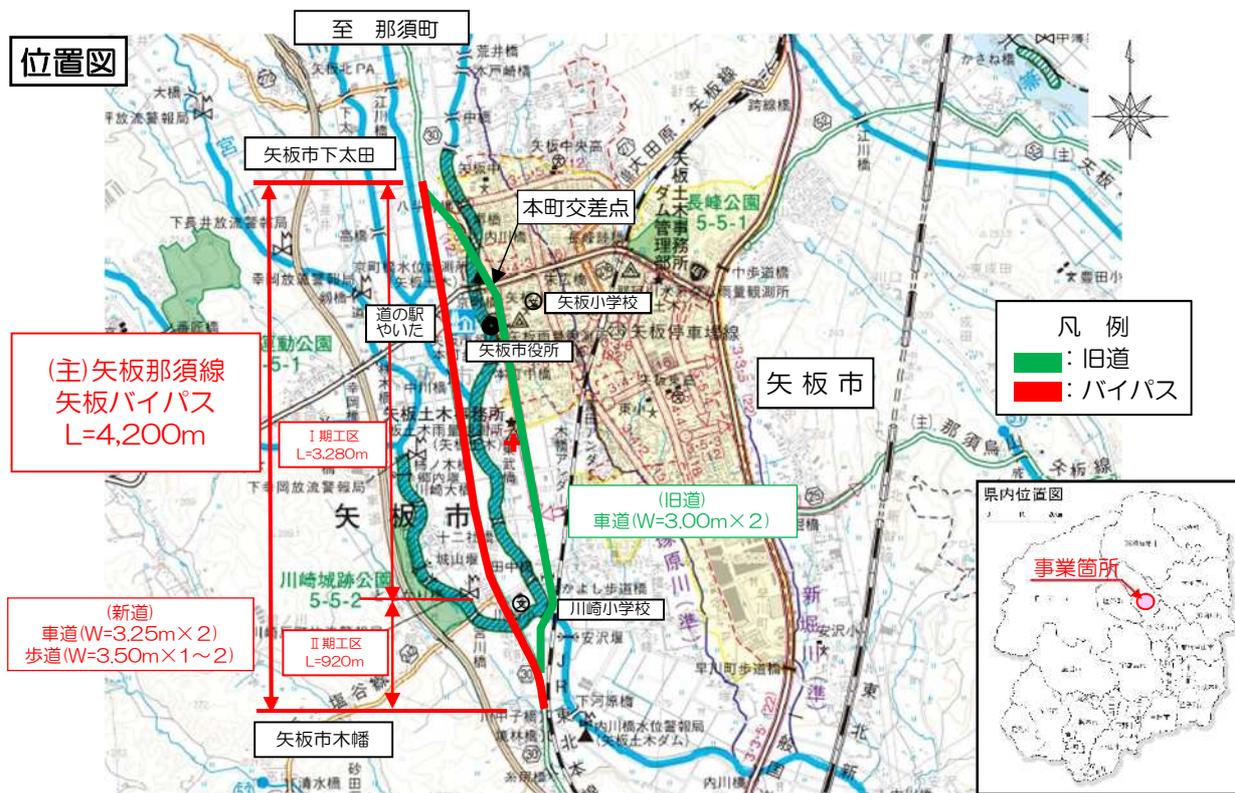
(平成27 (2015) 年12月 供用)

### 1. 事業概要

主要地方道矢板那須線は、<sup>やいた</sup> 矢板市を起点とし、<sup>なす</sup> 那須町に至る主要な幹線道路であり、県北地域の社会経済活動はもとより、沿線地域の日常生活を支える重要な路線である。また、災害時における応急活動や物資等の輸送を確保する第2次緊急輸送道路に指定されている。

しかしながら、矢板市木幡地内～本町交差点においては、交通容量不足により慢性的な渋滞が発生していると同時に、沿線に立地する矢板小学校や川崎小学校の通学路に指定されているが、歩道未整備区間があるなど、円滑で安全な交通に支障を来している状況にあった。

このため、栃木県では、交通の円滑化、歩行者・自転車等の安全確保、緊急輸送道路ネットワークの強化を目的として、平成17年からバイパス事業に着手し、平成27年12月に供用を開始した。



- ◆ 事業名 : 快適で安全な道づくり事業
- ◆ 事業主体 : 栃木県
- ◆ 事業箇所 : 主要地方道矢板那須線  
矢板市<sup>きばた</sup>木幡～矢板市<sup>しもおた</sup>下太田
- ◆ 全体延長 : L=4,200m
- ◆ 幅員 : W=12.0～15.0m (車道6.5m、歩道3.5m両側 (一部片側))
- ◆ 総事業費 : 約33億円
- ◆ 事業期間 : 平成17年度～平成27年度 (供用開始: 平成27年12月)

## 2. 事業の目的・必要性

- ① 交通の円滑化
- ② 歩行者・自転車等の安全確保
- ③ 緊急輸送道路ネットワークの強化

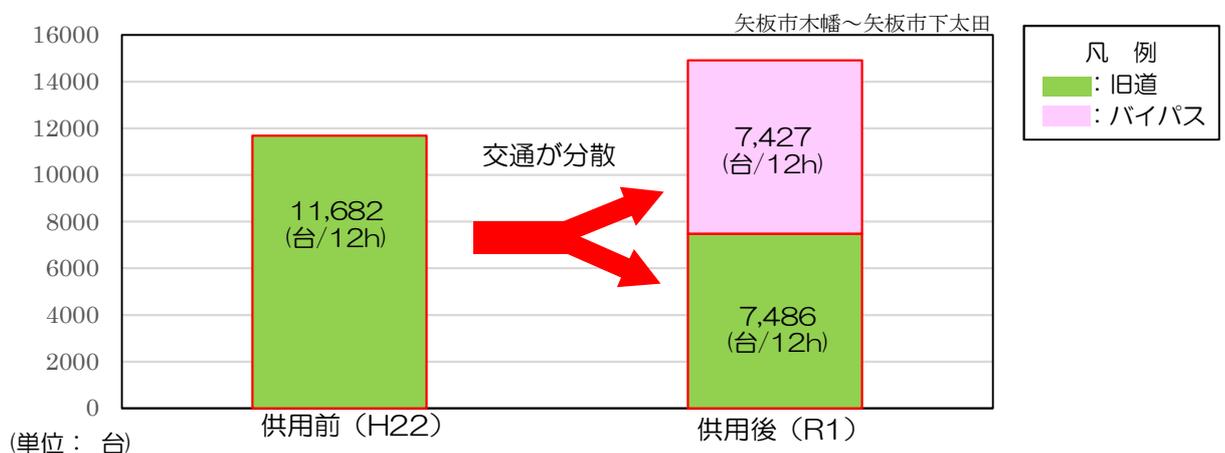
## 3. 事業の整備効果等

### ① 交通の円滑化

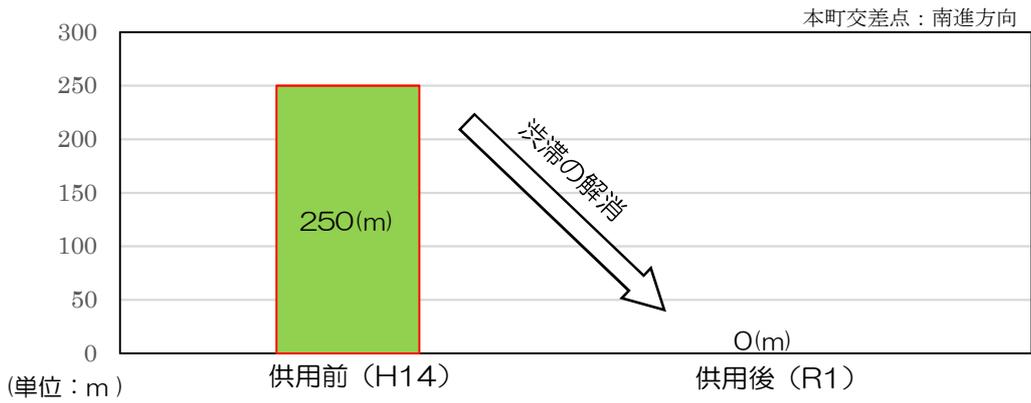
1) 通過交通がバイパスに転換したことにより、市街地を通る旧道の慢性的な渋滞が解消した。



### <交通量の推移>

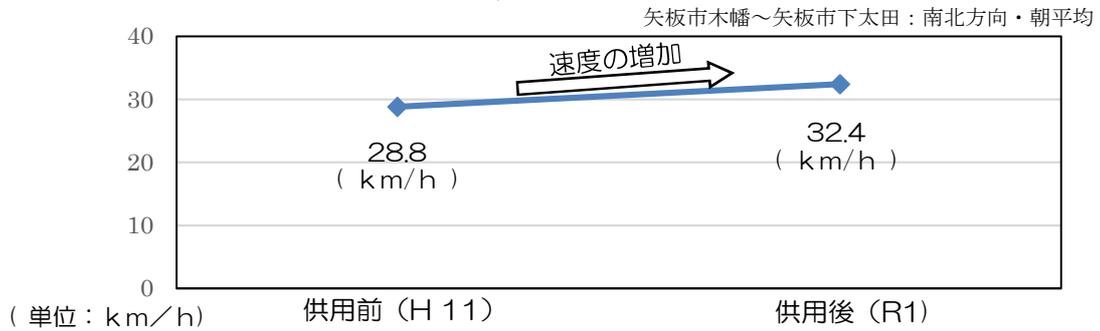


＜通勤時間帯の渋滞長の比較＞



2) 旅行速度が高まるなど、交通の円滑化が図られた。

＜通勤時間帯平均旅行速度の比較＞



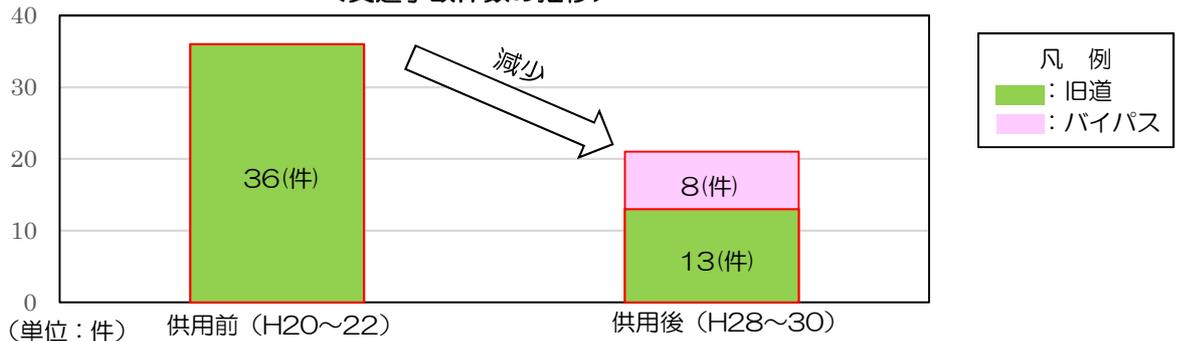
② 歩行者・自転車等の安全確保

1) 自転車歩行者道の整備により、歩行者・自転車の安全な通行空間が確保された。



2) 旧道を含む事業区間の交通事故件数が減少した。

＜交通事故件数の推移＞



③ 緊急輸送道路ネットワークの強化

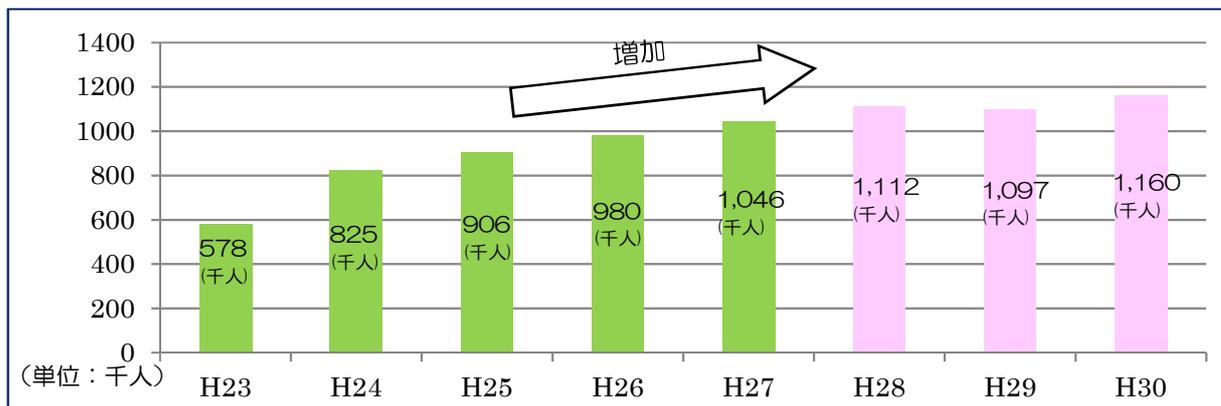
1) ネットワークの代替路線が確保され、緊急輸送道路としての機能が強化された。

④ その他（産業・観光の振興支援）

1) 沿道に「道の駅やいた」が整備され、施設利用者数は年々増加している。

2) アンケートにおいて77%の近隣企業で輸送・業務が効率化したと回答している。

<道の駅やいた 利用者数の推移>

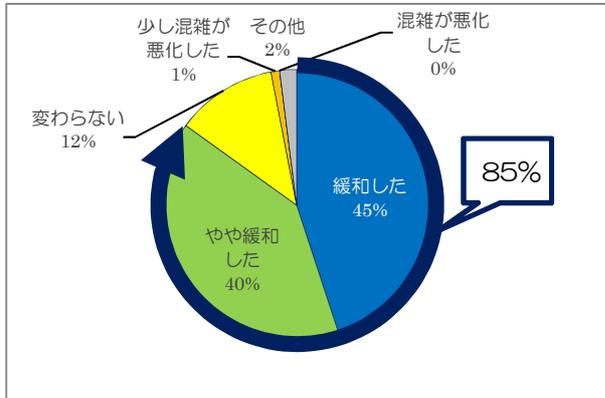


## 4. 地元の声・アンケート結果

主要地方道矢板那須線矢板バイパスの整備効果を検証するため、地域住民や企業等のほか、道の駅やいたの来訪客にアンケート調査を実施した。

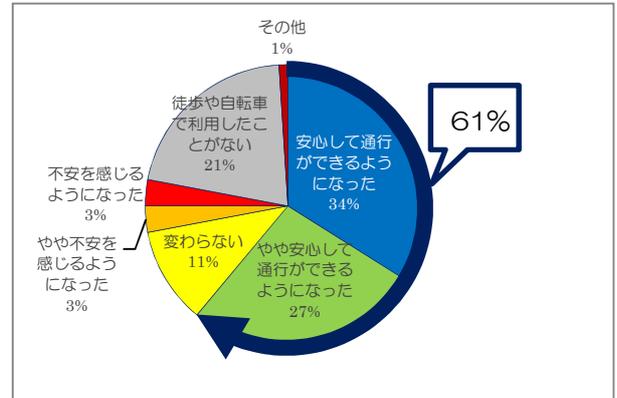
(回答数/配布数：512/1260件 回答率 41% ※有効回答数は設問により異なる。)

### (1) 渋滞の緩和



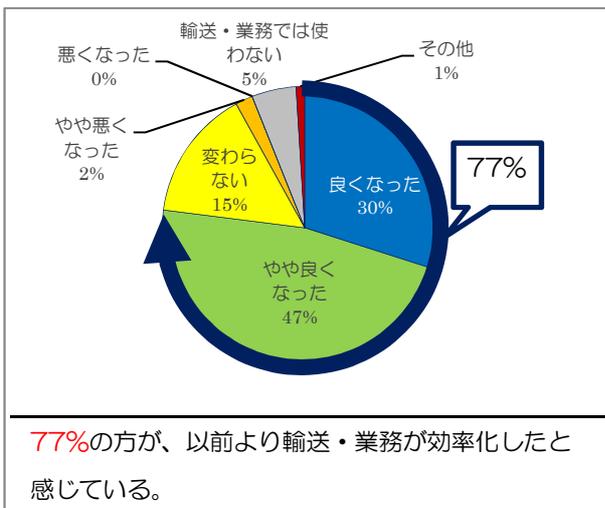
85%の方が、以前より渋滞が緩和したと感じている。

### (2) 歩行者・自転車通行の安全性



61%の方が、以前より安心して通行ができると感じている。

### (3) 近隣企業等の輸送・業務の効率化



77%の方が、以前より輸送・業務が効率化したと感じている。

### 自由意見

- ◇ 交通事故がかなり減ったように感じる。
- ◇ 日常生活において利便性が向上した。
- ◇ 歩車道の境界がはっきりとしたので走りやすい。
- ◆ 車両の逸脱を防ぐため、ガードレールを設置してほしい。
- ◆ 信号が多いので移動時間が整備前と変わらない。
- ◆ 那須・塩原方面にもっと距離を伸ばしてほしい。

## 5. 今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性

本事業により、①交通の円滑化、②歩行者・自転車等の安全な通行空間の確保、③緊急輸送道路ネットワークの強化等、様々な整備効果が発現しており、道路利用者のアンケート調査からも事業の目的を達成する効果を確認できた。

一方、アンケート調査で意見のうち「ガードレールを設置してほしい」については、交通の状況を見極め、危険性が確認された場合には対応していく。また、那須・塩原方面への延伸については、平成29年から泉バイパスの事業実施中である。

## 6. 同種事業への反映

本事業においては、交通容量の拡大による交通の円滑化、自転車歩行者道の整備による歩行者・自転車の安全確保、産業・観光の振興支援など十分な効果を確認することができた。

特に、本事業の推進にあたっては、周辺の土地利用を考慮するとともに、矢板市と連携を図ったことで、バイパス整備に併せ、沿道に「道の駅」が整備されるなど、産業・観光の振興に大きく寄与した。今後も同種事業の計画策定時には、関係市町・機関と連携のうえ、より効果的・効率的に事業を推進していく。



栃木県 県土整備部 道路整備課

TEL : 028-623-2410 FAX : 028-623-2417

HP : <http://www.pref.tochigi.lg.jp/h04/index.html>

E-mail : [doro-seibi@pref.tochigi.lg.jp](mailto:doro-seibi@pref.tochigi.lg.jp)

VERY  
GOOD  
LOCAL  
とちぎ